

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	水戸日建工科専門学校
設置者名	学校法人 城東学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	建築設計科	夜・通信	320 時間	160 時間	
	建築インテリアデザイン科	夜・通信	320 時間	160 時間	
工業専門課程	建築設計研究科	夜・通信	200 時間	80 時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

【大学等修学支援法関連】ファイルにまとめ、学校事務局にて自由に閲覧及び配布できるものとする

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	水戸日建工科専門学校
設置者名	学校法人 城東学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

【大学等修学支援法関連】ファイルにまとめ、学校事務局にて自由に閲覧及び配布できるものとする

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和5年4月 1日～令和8 年3月31日	法人運営・会計全般 の確認
非常勤	法人役員	令和5年4月 1日～令和8 年3月31日	法人運営の確認
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	水戸日建工科専門学校
設置者名	学校法人 城東学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画は毎年1月頃から教務部にて作成を開始する。 各授業科目については、担当教員と授業の方法、内容、到達目標、成績評価の方法を必ず確認し事業計画を作成することとする。 2月に実施する教職員会議にて審議をし、3月の上旬に最終決定をする。 その後、毎年3月末に次年度の授業計画を公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	【大学等修学支援法関連】ファイルにまとめ、学校事務局にて自由に閲覧及び配布できるものとする
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>シラバスに記載の成績評価基準に基づき評価を実施する。 定期試験については前期・後期に各2回行う試験により評価する。 定期試験が一定基準に満たない者については追試験を行い評価する。 定期試験のない科目については課題・レポートの提出により評価する。 その他に授業態度、出席率も評価対象となる。 出席率については欠席時間数が出席すべき時間数の3分の1を超える場合は原則としてその科目の単位を認めない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>科目担当教員が定期試験、課題、レポート、出席率を成績評価として100点満点に換算し評価する。 各担任はその評価に基づき成績分布状況を示す資料を作成する。 成績の分布状況で下位4分の1に該当する学生については学習指導を実施し、学力の向上を図る。 成績評価、成績の分布状況については毎年2月に実施する卒業判定会議、毎年3月に実施する進級判定会議にて活用し、全教職員で周知・把握する。 評価結果は前期末・後期末に各教職員および学生に通知し、今後の学習に反映させる。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>【大学等修学支援法関連】ファイルにまとめ、学校事務局にて自由に閲覧及び配布できるものとする</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業 毎年2月に全教職員で実施する卒業判定会議にて成績評価に則り卒業を認定する。 卒業の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年次における年間授業時数の3分2以上を出席している事 ・2年次の全科目について単位を取得している事 ・在学年数は2年以上4年以内である事(ただし、休学期間は年数に参入しない) ・卒業までに必要な納入金・諸経費等を全額納入している事 <p>進学 毎年3月に全教職員で実施する進級判定会議にて成績評価に則り進級を認定する。 進級の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次における年間授業時数の3分の2以上を出席している事 ・1年次の全科目について単位を取得している事 ・1年次に必要な納入金・諸経費等を全額納入している事 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>【大学等修学支援法関連】ファイルにまとめ、学校事務局にて自由に閲覧及び配布できるものとする</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	水戸日建工科専門学校
設置者名	学校法人 城東学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務局に備え付け、自由に閲覧及び配布
収支計算書又は損益計算書	学校事務局に備え付け、自由に閲覧及び配布
財産目録	学校事務局に備え付け、自由に閲覧及び配布
事業報告書	学校事務局に備え付け、自由に閲覧及び配布
監事による監査報告（書）	学校事務局に備え付け、自由に閲覧及び配布

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築設計科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2320 単位時間/単位	1360 単位時間 /単位	160 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位	640 単位時間 /単位
			2320 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		79人	人	2人	14人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画は毎年1月頃から教務部にて作成を開始する。 各授業科目については、担当教員と授業の方法、内容、到達目標、成績評価の方法を必ず確認し事業計画を作成することとする。 2月に実施する教職員会議にて審議をし、3月の中旬に最終決定をする。 その後、毎年3月末に次年度の授業計画を公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>科目担当教員が定期試験、課題、レポート、出席率を成績評価として100点満点に換算し評価する。 各担任はその評価に基づき成績分布状況を示す資料を作成する。 成績の分布状況で下位4分の1に該当する学生については学習指導を実施し、学力の向上を図る。 成績評価、成績の分布状況については毎年2月に実施する卒業判定会議、毎年3月に実施する進級判定会議にて活用し、全教職員で周知・把握する。 評価結果は前期末・後期末に各教職員および学生に通知し、今後の学習に反映させる。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業の認定方針の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の建設産業、建設技術の振興に寄与する人材となり、国際感覚の育成と心豊かな人格になる事を卒業認定方針とする。 <p>毎年2月に全教職員で実施する卒業判定会議にて成績評価に則り卒業を認定する。</p> <p>卒業の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年次における年間授業時数の3分2以上を出席している事 ・2年次の全科目について単位を取得している事 ・在学年数は2年以上4年以内である事(ただし、休学期間は年数に参入しない) ・卒業までに必要な納入金・諸経費等を全額納入している事 <p>進学</p> <p>毎年3月に全教職員で実施する進級判定会議にて成績評価に則り進級を認定する。</p> <p>進級の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次における年間授業時数の3分の2以上を出席している事 ・1年次の全科目について単位を取得している事 ・1年次に必要な納入金・諸経費等を全額納入している事
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>学生と教職員がきちんと向き合えるクラス担任制とし、個々の能力に合わせた学習・資格取得・就職支援など卒業までのプロセスをしっかりとサポートし、気軽に相談もできる環境</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
44人 (100%)	33人 (75.0%)	11人 (25.0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 設計事務所、住宅・建設業界			
(就職指導内容) 履歴書・面接指導・企業説明会の開催 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 二級建築施工管理技士補・一、二級建築士の受験資格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92人	8人	8.7%

(中途退学の主な理由) 成績不振・進路変更などにより自主的に退学
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業などに関する悩みを抱える学生に対し、個人面談・保護者面談を行う

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	建築インテリアデザイン科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2400 単位時間／単位	1520 単位時間/単位	80 単位時間/単位	240 単位時間/単位	80 単位時間/単位	480 単位時間/単位
			2400 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	49人	0人	2人	14人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画は毎年1月頃から教務部にて作成を開始する。 各授業科目については、担当教員と授業の方法、内容、到達目標、成績評価の方法を必ず確認し事業計画を作成することとする。 2月に実施する教職員会議にて審議をし、3月の中旬に最終決定をする。 その後、毎年3月末に次年度の授業計画を公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 科目担当教員が定期試験、課題、レポート、出席率を成績評価として100点満点に換算し評価する。 各担任はその評価に基づき成績分布状況を示す資料を作成する。 成績の分布状況で下位4分の1に該当する学生については学習指導を実施し、学力の向上を図る。 成績評価、成績の分布状況については毎年2月に実施する卒業判定会議、毎年3月に実施する進級判定会議にて活用し、全教職員で周知・把握する。 評価結果は前期末・後期末に各教職員および学生に通知し、今後の学習に反映させる。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業 卒業の認定方針の策定 ・わが国の建設産業、建設技術の振興に寄与する人材となり、国際感覚の育成と心豊かな人格になる事を卒業認定方針とする。 毎年2月に全教職員で実施する卒業判定会議にて成績評価に則り卒業を認定する。 卒業の条件 ・2年次における年間授業時数の3分2以上を出席している事 ・2年次の全科目について単位を取得している事 ・在学年数は2年以上4年以内である事(ただし、休学期間は年数に参入しない)

<ul style="list-style-type: none"> ・卒業までに必要な納入金・諸経費等を全額納入している事 <p>進学 毎年3月に全教職員で実施する進級判定会議にて成績評価に則り進級を認定する。</p> <p>進級の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次における年間授業時数の3分の2以上を出席している事 ・1年次の全科目について単位を取得している事 ・1年次に必要な納入金・諸経費等を全額納入している事
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>学生と教職員がきちんと向き合えるクラス担任制とし、個々の能力に合わせた学習・資格取得・就職支援など卒業までのプロセスをしっかりとサポートし、気軽に相談もできる環境</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	15人 (75.0%)	4人 (20.0%)	1人 (5.0%)
(主な就職、業界等) 設計事務所、住宅・建設業界			
(就職指導内容) 履歴書・面接指導・企業説明会の開催 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) インテリアコーディネーター・一、二級建築士の受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	3人	6.8%
(中途退学の主な理由) 成績不振・進路変更などにより自主的に退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学業などに関する悩みを抱える学生に対し、個人面談・保護者面談を行う		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	建築設計研究科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1240 単位時間／単位	640 単位時間 /単位	160 単位時間 /単位	40 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	400 単位時間 /単位
			1240 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		48人	0人	2人	5人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画は毎年1月頃から教務部にて作成を開始する。 各授業科目については、担当教員と授業の方法、内容、到達目標、成績評価の方法を必ず確認し事業計画を作成することとする。 2月に実施する教職員会議にて審議をし、3月の中旬に最終決定をする。 その後、毎年3月末に次年度の授業計画を公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>科目担当教員が定期試験、課題、レポート、出席率を成績評価として100点満点に換算し評価する。 各担任はその評価に基づき成績分布状況を示す資料を作成する。 成績の分布状況で下位4分の1に該当する学生については学習指導を実施し、学力の向上を図る。 成績評価、成績の分布状況については毎年2月に実施する卒業判定会議、毎年3月に実施する進級判定会議にて活用し、全教職員で周知・把握する。 評価結果は前期末・後期末に各教職員および学生に通知し、今後の学習に反映させる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定方針の策定 ・わが国の建設産業、建設技術の振興に寄与する人材となり、国際感覚の育成と心豊かな人格になる事を卒業認定方針とする。 毎年2月に全教職員で実施する卒業判定会議にて成績評価に則り卒業を認定する。</p> <p>卒業の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次における年間授業時数の3分2以上を出席している事 ・1年次の全科目について単位を取得している事 ・卒業までに必要な納入金・諸経費等を全額納入している事
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生と教職員がきちんと向き合えるクラス担任制とし、個々の能力に合わせた学習・資格取得・就職支援など卒業までのプロセスをしっかりとサポートし、気軽に相談もできる環境</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	29人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 設計事務所、住宅・建設業界			
(就職指導内容) 履歴書・面接指導・就職ガイダンスの開催 等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 一、二級建築士・2級建築施工管理技士補の受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	1人	3.3%
(中途退学の主な理由) 企業側より早期就職による内定取得のため、自主退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 保護者面談・本人面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築設計科	150,000 円	800,000 円	150,000 円	その他 (実習費)
建築インテリア デザイン科	150,000 円	800,000 円	150,000 円	その他 (実習費)
建築設計研 究科	150,000 円	800,000 円	150,000 円	その他 (実習費)
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
教育ローンの借り入れ困難な学生に対して、入学後までの猶予の取り組みをしている。 納入時期は、後期の区分確定後授業料決定額納入。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mitonikken.com/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校自ら自己評価を行うとともに、企業・業界団体が委員として参画する学校関係者 評価を実施・公表し、評価結果に基づき学校運営体制の改善を図る		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
三秀建設工業株式会社ハウスプラス	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業・業界
雑賀工務店	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業・業界
三秀建設 工業株式会社	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mitonikken.com/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.mitonikken.com/
--